

北日本漁業経済学会 ニュースレター

北日本漁業経済学会・2019年度活動経過報告

*** 会員管理（組織）、会計（決算・予算）関係の報告は別途古林理事より報告。**

1. 第48回大会実施経過

北日本漁業経済学会第48回大会を2019年10月24～26日に、仙台市・東北大学青葉山キャンパスにおいて、下記のような内容で実施した。

10月24日（木） 会場；東北大学農学部

◆18時～20時；北日本漁業経済学会理事会

10月25日（金） 会場；東北大学青葉山コモンズ・第1講義室

◆10時30分～17時；シンポジウム「新漁業法はスタートできるのか？－新漁業法の施行をめぐる問題点と課題－」を開催。加瀬和俊氏（帝京大学）の基調報告「「新漁業法」の施行と今後の課題」に続き、片山知史（東北大学）、田中克哲（全国漁業協同組合学校）、上田克之（水産北海道協会）、佐藤力生（三重県鳥羽磯部漁協）の4氏が報告した。続いて、鈴木正男（千葉県沿岸小型漁業協同組合組合長）、田口さつき（農林中金研究所研究員）、沢藤大河（弁護士）の3氏がコメントを述べ、加瀬氏の司会によりパネル討論が行われた。

◆17時15分～19時；シンポジウム終了後、青葉山コモンズ内のレストランにおいて懇親会を行った。なお、シンポジウムには60数名、懇親会には30余名の参加があり、何れも盛会裏に終了した。

10月26日（土） 海上；東北大学青葉山コモンズ・第1講義室

◆一般報告として、望月理生（東北福祉大学）、工藤貴史（東京海洋大学）、小川健（専修大学）、藤井陽介（水産大学校）、二平章（茨城大学）の5氏が報告を行った。その後、当学会の総会を行い、2018年度決算、2019年度予算、2019年活動方針等を決定するとともに、新役員を選出した。

2. 新役員及び事務局体制

第48回大会の総会において選出された新役員と事務局の体制は下記の通りである。

<新役員体制>

理事；*会長・二平章（茨城大学）、*宮澤晴彦（北海道大学）、*上田克之（水産北海道協会）、*古林英一（北海学園大学）、片山知史（東北大学）、*濱田武士（北海学園大学）、*甫喜本憲（水産大学校）、清水幾太郎（元北海道区水産研究所）、柳田洋一（茨城県水産試験場）、*佐々木貴文（北海道大学）、長谷川健二（元福井県立大学）、石川傑（北海道水産林務部）、中村彰男（秋田県栽培漁業協会）、渡邊一功（漁業情報サービスセンター）、三木奈都子（中央水産研究所）、林薫平（福島大学）、大串伸吾（寿都町職員）、杭田俊之（岩手大学）、工藤貴史（東京海洋大学）

監事；宮入隆（北海学園大学）、山下成治（札幌大谷大学）

<事務局体制>

事務局長・総務；宮澤晴彦

会計・会員管理；古林英一

シンポ担当；二平章、長谷川健二、上田克之、片山知史、杭田俊之、濱田武士、三木奈都子

（注）事務局については上記の体制でスタートしたが、次期大会（第49回大会）では新事務局体制に移行することが理事会で検討されていた。ニュースレターでお知らせしたように、新事務局体制は下記のように定められ、既に活動を開始している。

<新事務局体制>

総務；濱田武士

会計・会員管理：古林英一

〒062-8605 札幌市豊平区旭町4-1-40 北海学園大学経済学部

新事務局専用メールアドレス；njfe2020@gmail.com

TEL 011-841-1161（代表）

3. 学会誌編集経過及び次号（49号）編集方針

（1）編集体制

委員長：甫喜本憲

編集総務：大谷誠、副島久実、西村絵美、児玉工

編集委員：宮澤晴彦、古林英一、三木奈都子、佐々木貴文

（2）編集経過

①一般投稿論文

今年度より報告論文というジャンルが加わり、論文2本、報告論文2本、随想1本と、例年より投稿数および掲載数は増加した。うち、査読審査が不要である随想以外の4本の論文に関する編集作業の経過は別表の通りである。

このうち1本は、今回の投稿期限よりかなり早い時期に投稿された為、編集業務の過密化を避ける為、前倒しして編集作業を行った。4本いずれもつつがなく作業を終えた。

②シンポジウム関連原稿

今年度は、記念講演1本、個別報告4本に加え、コメンテーターからのコメント3本も掲載することにした。いずれも編集局での取纏め締切を8月31日に設定したが、実際には6月2日までに全ての原稿が提出された。

③発刊の遅延について

このように、一般投稿論文、シンポジウム原稿、いずれも8月までには全ての編集作業を終えたが、その後、著者校正で2ヶ月以上の遅延が生じた。その理由は、今年度から事務作業軽減の為、著者校正時に原稿ファイルを印刷会社から著者に直接メールで送るよう手配したものの、着信上の不備が発生し、その事に双方が気づくことなく時間が経過してしまった為である。

今後は、編集局の方で責任を持ち、著者校正以降のスケジュール管理をしっかりと行うように心

掛けたいと思う。

(3) 次号(第49号)の発行について

◆次号に関しては、2021年春期大会開催の可否次第であるが、シンポジウム特集と一般投稿論文で構成。一般投稿の締切は、2021年2月28日とする。

◆投稿論文数の減少が懸念される為、今年12月に学会HPで開催される一般報告の各報告者に関して、積極的な投稿をお願いしたい。

別表；北日本漁業第49号 一般投稿論文の編集経過

	論文A	論文B	論文C	論文D
事務局受付	2019. 8. 30	2020. 2. 28	2020. 2. 28	2020. 2. 28
編集責任担当者の決定	2019. 9. 3	2020. 3. 6	2020. 3. 6	2020. 3. 12
査読者の決定、査読依頼	2019. 9. 5	2020. 4. 10	2020. 3. 23	2020. 3. 18
査読結果の回収	2019. 10. 29	2020. 5. 28	2020. 5. 13	2020. 4. 16
採否結果判定(1回目)	手直しの上、掲載可	大幅な手直しを要する (再査読を要する)	手直しの上、掲載可	手直しの上、掲載可
著者への査読結果の通知	2019. 10. 29	2020. 6. 1	2020. 5. 13	2020. 4. 18
著者からの再投稿	2019. 12. 10	2020. 6. 27	2020. 6. 8	2020. 5. 1
採否結果判定(2回目)	2019. 12. 10(済)	手直しの上、掲載可	2020. 6. 12(済)	2020. 5. 12(済)
著者への査読結果の通知		2020. 6. 29		
著者からの再投稿		2020. 6. 30		

4. その他(大会後の諸活動)

◆大会後、年明け以降はコロナ禍の中で、49回大会(盛岡市・岩手大学で開催予定)の実施可能性について検討してきたが、最終的に困難と判断し、ニュースレターでお伝えしていたように、一般報告の原稿を新事務局で受け付けてHPに掲示することとした。

◆一般報告原稿(A4・4~5枚以内)の投稿締め切りは12月20日で、送付先は新事務局のメールアドレス(njfe2020@gmail.com)。一般報告原稿を出して頂いた方は、学会誌にも是非投稿して頂きたい。学会誌への投稿については締め切りが2月28日で、送付先は下記の通り。

〒759-6595 下関市永田本町2-7-1 水産大学校内・北日本漁業経済学会誌編集委員会 委員長
・甬喜本憲 メールアドレス ; kitanihon@fish-u.ac.jp

- ◆日本学術会議に当学会の届け出内容を更新し報告した。
- ◆次回大会の設営や今後の学会組織の在り方について検討中だが、これらの点については別途報告予定。

【今後の活動について】

1. 第49回大会の代替措置——春季大会

コロナ感染拡大のため2020年秋に予定していた第49回大会は岩手大会を予定していましたが、年度内の開催は難しいと判断しました。そのうえで、一般報告におきましては先に記しましたとおり、12月末のホームページ上での書面開催として、シンポジウムにつきましては2021年の連休空けに岩手県内で春季大会を開催することにしました。テーマは「三陸の水産振興（仮）」です。ただし、現在のコロナ感染拡大状況を踏まえると、オンライン開催の開催を視野にいれながらの準備になろうかと思えます。春季大会では臨時総会を開催致しますのでできる限り多くの会員の方に参加して頂きたく思っております。

2. 第50回大会について

第50回大会は、2021年秋に札幌での開催を予定しています。シンポジウムテーマにつきましては現在思案中ですが、新水産政策下の北海道漁業の行方などを検討したいと思っております。

北日本漁業経済学会事務局（事務局長；濱田武士）

〒062-8605 札幌市豊平区旭町4-1-40

北海学園大学 経済学部（濱田研究室）

TEL 011-841-1161(代表)

E-mail njfe2020@gmail.com